

シルバーだより

創 刊 号

い き が い

発 行

(社)佐用町シルバー人材センター
広報編集委員会

〒979-5301

兵庫県佐用郡佐用町佐用 1035-14



佐用町シルバー人材センター

主な内容

理事長挨拶

- ・ 高見副町長、石堂県議会議員、新田町議会副議長、祝詞
- ・ 平成 22 年度総会議事
- ・ 永年勤続者表彰（九名）
- ・ 事務局より・・・会員募集、原稿募集、安全標語、配分金おしはらいのお知らせ
- ・ 編集後記

平成二十一年度第一回通常総会盛大に開催

平成二十一年度第一回通常

総会が、去る五月二十五日(火)に佐用町いきがいくくりセンターで盛大に開催されました。

当日は風薫る好天気に恵まれ各地区から会員一五六名(本人出席八四名、委任状提出七十二名)が出席して午前十時に事務局長の司会で始まり、理事長から昨年は佐用町に於いて台風九号によるかつてない甚大な被害が生じ現在町の復興に全力を挙げ取り組んで頂いている。平成二十一年度事業に関しては、行政及び会員のみならず

の御協力により、事業の収入が七千二百六十四万円となり当初予算を上回り、健全な運営ができました。安全就業に於いては平成二十年九月から今日まで無事故が続いております。今後とも安全就業に徹して事故を未然に防ぐ様留意して欲しい」と挨拶がありました。続いて平成十一年度中にシルバー人材センターに入会され以来十年間に亘り佐用町シルバー人材センターの発展に尽くされた九名の方が理事長より表彰状と記念品を授与されました。

続いて石堂県議会議員、高見副町長、新田町議会副議長からそれぞれお礼の祝辞を頂きました。引き続き議長に三宅賢三さん(上月地区) 議事録署名人に小林文雄さん(佐用地区) 紙上敏明さん(南光地区)が選出されて次の議案が議決されました。

第一号報告、平成二十二年第一回収支補正予算、第二号議案平成二十一年度報告では事務局から平成二十一年度事業についての報告がされ、第二号議案の平成二十一年度収支決算報告を詳細に説明し橋本監事による監査報告のあと採決の結果異議なしと採決されました。第三号議案の理事長に対する権限委任についても異議なしと可決されて副理事長から閉会の挨拶で総会を終了しました。



受賞者名

佐用地区

岡本 寿美さん

梶本 進さん

横山 繁さん

吉田 忠江さん

上月地区

井口 紀子さん

竹位 さかゑさん

南光地区

小瀬 保男さん

竹内 一喜さん

谷邑 寛律さん



10 年の永きにわたり、会員としてセンター事業の発展につくしてこら

シルバーだより

いきがい創刊にあたって



理事長 保田 彰則

地域社会に貢献できる
シルバーをめざして

このたび、佐用町シルバー人材センター発足当初からの懸案でありました、シルバーだよりの発刊について、本年度の総会でその計画と予算のご承認を得て、シルバーだより「いきがい」の創刊を見るに至りました事、大変うれしく関係皆様のご協力に深く感謝する次第です。

シルバーだよりはセンター活動の普及啓発や就業機会の確保、情報の提供などを目標に刊行するもので、広報委員会の努力によって「継続は力なり」と更なる充実持続が期待されます。

少子化、過疎化が進み労働力、人口の減少から地域の担い手として、センターはその存在意識を正しく把握実践し、町民の皆さんに親しまれ信頼される組織に成長しなければと願っており、平成二十四年四月一日には社団法人兵庫県シルバー人材センター協会のご指導を得て、公益社団法人へ移行する計画で現在調整されております。

県、町当局を始め、関係するすべての皆様の変わらぬ温かいご支援をお願いし、シルバーだより「いきがい」発刊に寄せるごあいさつと致します。

祝辞

シルバーだより「いきがい」

創刊に寄せて



佐用町長 庵途 典章

シルバーだより「いきがい」の創刊、誠におめでとうございます。平成五年の設立以来、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもとに地域に根ざした事業の推進と活力ある地域社会づくりに寄与され、大きな成果を挙げておられますことに敬意を表する次第です。

シルバー人材センターは会員数も200名が登録され高齢者に対する就業の場を提供するというだけでなく、地域社会の福祉の向上と、地域活性化に貢献いただいております。会員の皆様には、町民に愛され、信頼されるシルバーをめざしてご活躍をいただきますようお願いしております。

本町におきましても、シルバー人材センターの理念を尊重し、働く機会を求めめる高齢者のニーズに応えられるよう、就業をはじめ高齢者が安心して自立した生活を送れる社会の実現に取り組みまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに「佐用町シルバー人材センター」並びに会員の皆様のご健康とご活躍を祈念するとともに、シルバーだより「いきがい」創刊を祝し、ごあいさつといたします。

安全就業への取組（事故ゼロ）

安全委員による就業現場巡回を行っています

安全標語 過信と言う 二文字にひそむ 身の危険

事務局 便り

就業先でのマナーを守ろう

私達シルバー人材センターは発注者のみなさんに常に喜ばれる仕事をしなければなりません。更に「町民の皆さんから信頼され安心される」シルバーでなければなりません。そのためには「親切、丁寧」を忘れないようにすることが大切です。尚大事なことは、訪問の際必ず「挨拶」をするように心掛けましょう。当然のことが忘れがちになることがあります。就業が終わった段階では「ありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。」と声をかける習慣をつけるようにしましょう。入会した当時は、緊張感をもって仕事に熱中しますが、長年仕事をしていますと仕事に慣れが先行して、つい大切な事に気づかず、思わぬ失敗を招くことがあります。「初心に帰って」の言葉どおりしっかりと反省を忘れずに就業するようにしましょう。

シルバー人材センター地区世話役

佐用地区・・・横山 繁	8 3	2 2 2 2
上月地区・・・高見静雄	8 6	0 7 8 1
南光地区・・・紙上敏明	7 8	1 5 1 2
三日月地区・小原春雄	7 9	2 3 6 3

配分金支払日

七月分	八月十三日(金)
八月分	九月十五日(水)
九月分	十月十五日(金)
十月分	十一月十五日(月)

会員の原稿募集

シルバー人材センターでは年に二回の予定でシルバーだよりいきがいを発行します。次のような内容の原稿をお寄せください。

- 会員として働く喜び、生きがい等の自己体験等
- 随筆、短歌、俳句等
- 趣味の写真等

原稿用紙 400 字詰一〜二枚程度
原稿締切日 平成二十二年十月末
シルバー人材センター事務局まで
お寄せ下さい。

会員の募集をしています

会員の皆様のお友達やご近所、お知り合いの方に、シルバー人材センターへの入会をお勧め願います。

入会資格は

- 佐用町に居住している方
- 六十歳以上の方
- 健康で働く意欲のある方

機関紙の編集にあたって

皆さんお元気ですか。

私たちの仲間紙としての「いきがい」を発行するにあたり4名の者が広報委員として委嘱されました。もとよりに会員としての経験も少なく、解らないことばかりですが、先輩や若手の意見を聞きながら、幅広く多彩に種々紹介したり、勉強したり、宣伝もしたいと考えております。

創刊なので、理事長のあいさつと本会の歴史、予算等を復習を含めてお知らせすることと致しました。

今号が出発ですが、今後は皆様のご意見をお聞きしながら、より充実させていきたいと考えておりますので、ご指導ご協力の程よろしくお願いたします。

広報委員

- | | |
|-------|-------|
| 西崎 光男 | 井上 薫 |
| 祐保 俊彦 | 舟引 良基 |